

## 手指衛生について

6月に行いました感染対策委員会研修会は手指衛生に関するものでした。各部署に手洗い検査も回覧し、実際に手洗いにおける“洗い残し”を体験していただきました。如何でしたでしょうか？

コロナ禍において手指衛生が一般化し生活習慣の一部となりましたが、なかなか新型コロナの流行が収まらない昨今です、今一度手指衛生をご確認ください。手指衛生は感染対策の基本です。以下ケンエー製薬(株)の手指衛生概要からの抜粋です。( <https://www.kenei-pharm.com/medical/countermeasure/handwash/01.php> )

手洗いには日常的手洗い、衛生的手洗い、手術時手洗いの3種類があり、その目的に応じて使い分ける必要があります。

### 手洗いの種類

#### (1) 清潔度から見た手洗いの分類

##### ①日常的手洗い：

食事の前後やトイレの後など日常の介護において行う、石けんと流水を用いた手洗い。

##### ②衛生的手洗い：

患者のケアなどの医療行為の前後に行う、消毒薬と流水又は、アルコール擦式製剤を用いた手洗い。

##### ③手術時手洗い：

手術の前に行う消毒薬と流水やアルコール擦式製剤を組み合わせた厳重な手洗い。

#### (2) 手洗い方法から見た手洗いの分類

##### ①スワブ法（清拭法）：

消毒薬を染み込ませた綿球やガーゼで拭き取る方法。消毒薬をたっぷり浸すことが重要であり、皮膚と消毒薬が一定時間以上接触している必要がある。

##### ②スクラブ法（洗浄法）：

洗浄剤を配合した手洗い用消毒薬を使ってよく泡立てて擦った後、流水で洗い流す方法。洗浄と消毒が同時に行える。

##### ③ラビング法（擦式法）：

アルコール擦式製剤を手掌にとり、乾燥するまで擦り込んで消毒する方法。特別な手洗い設備を必要としないため、簡便に手洗いができる。



## 手荒れについて

手洗いのコンプライアンスを下げる要因として手荒れが挙げられます。しかも手荒れ部位では、健康な皮膚と比べてブドウ球菌等が頻繁に付着しているといわれています。手洗い直後では手指付着菌数に差はないものの時間の経過とともに、手荒れのある手指では菌数が多くなるとの報告もあるため、手荒れは病院感染対策上重大な問題となります。手荒れ予防に積極的に取り組むことが非常に大切です（表 1）。

表 1. 医療従事者の手荒れの原因と対策

原因	対策
温水の使用や皮膚の乾燥	ハンドクリームの使用
ブラッシングなどによる物理的な刺激	ブラシを使用しない又はスポンジ等の使用
石けんや界面活性剤の繰り返し使用	保湿剤を含むアルコール擦式製剤を使用する
消毒薬や手袋によるアレルギー	薬剤の変更

## ハンドクリームの選択

### ①皮膚のゴワツキ硬化には尿素系の軟膏・クリーム剤

…当院保険薬では、尿素クリーム「フジカ」、ドラッグストア等では、セラチナミン等

### ②皮膚のカサカサ・乾燥にはヘパリン系

…当院保険薬では、ヒルドイドソフト軟膏、ドラッグストア等では、NALC 等

### ③あかぎれ等傷ついた皮膚<sup>注1)</sup>にはビタミン系

…当院保険薬では、ザーネ軟膏、ドラッグストア等では、アトリックスやユースキン等

注1) 手湿疹いわゆる主婦湿疹でかゆみや痛みがひどい場合には、ステロイドの塗り薬を使用する場合があります。手の甲やひらは他の部位よりも皮膚が厚いので、強めのステロイドを使うこともあります。傷が深くなると細菌感染を生じますので早めのケアが大切です。

## ★編集後記

職員健康診断はみなさん如何でしたでしょうか？

東京2020パラリンピックはじまりました、がんばれニッポン！

新型コロナも感染拡大中です。感染予防よろしくお願いします。

